

## カナダ東部の木造住宅トレンド視察

2016 年 12 月 15 日  
品質向上委員会 森田 順

### 北米最古の都市が、今、新しい！ デザイントレンドと新技術の住宅建築を視察

近年、再生可能な貴重資源としての木製建材製造技術並びに住宅建築技術は、目をみはる勢いで進化してきております。そこで、今回は人々の暮らしをサポートする住宅デザイン・建築技術の変化、それにより進化する資材製造技術についてカナダ東部のケベックを訪ね、検証する海外研修を企画しました。

ツアーでは、北米広葉樹の北の宝庫であり、フレンチ文化の色濃いカナダ東部のケベックで Joie de Vivre (人生を楽しもう!) のライフスタイルを実践するための住環境トレンドを視察します。木造新築住宅及びリモデル物件を視察し、大開口によるインドア・アウトドアを結び付ける生活の提案や、ライフスタイルをサポートするデザインと建材を見ていきます。

また商業ベースで建築の進む(訪問する時期には完成し居住が始まっています)CLT を利用した 13 階建ての木造共同住宅を見学します。更に、ケベック州政府との連携で宅地開発と不動産業界の現状についても視察していきます。そして、住環境の進化の立役者とも言える住宅・建築業界を支えるケベックのキープレーヤー達との交流会も予定しております。

北米でも極限寒冷地であるケベックでの森林管理、小径木の有効利用のために発達してきたエンジニアドウッドの利用等、視察対象は多岐にわたりますが、これらをケベック州政府、Q-WEB 等の業界団体、FP イノベーションズ等の研究機関に協力をいただくことで、当協会ならではのプログラムを組むことが出来ました。

簡単に旅程を紹介しますと、羽田空港からエア・カナダでケベック州の州都で森林資源有効利用を行う研究開発の中心地であるケベック市に入ります。

ケベック市は 1608 年に市政を確立した北米最古の都市であり、1985 年には世界遺産に認定された北米唯一の城塞都市です。ここでは、木造 13 階建住宅や研究所等新しい技術と、古い街並みを視察します。又、バンクーバー等の西海岸とは異なる、フランス文化圏ならではの衣食住を体験します。

(業界団体 Q-WEB の理事長宅でのオマール海老パーティーも企画しています)

次に、宅地開発を視察しながら陸路でモンリオールに向かいます。カナディアン建築センターではライトがモンリオール周辺で設計した住宅の資料も紹介されており、デザイン面での研修に加えられました。更に空路でトロントを経由しナイアガラ地域に足をのびします。美しい街並みで、いくつもの映画の舞台となったナイアガラ オン ザ レイクの街を散策し、ナイアガラの滝という北米の偉大なる自然に触れ、翌朝トロント空港から帰路につきます。

以上、カナダ東部の新旧のデザインと宅地開発の視察、現地業界団体との交流という、中身の濃い海外研修になっておりますので、是非ご参加いただけるよう、よろしくお願い申し上げます。

## 研修概要：

時 期： 2017年5月30日(火曜日) 出発、6月5日(月曜日) 帰国の5泊7日

目 的： カナダ東部の新旧のデザインと宅地開発の視察、現地業界団体との交流

費 用： 輸入住宅産業協会員(お一人様) ¥275,000. / 一人部屋ご利用の場合¥335,000.  
非会員(お一人様) ¥295,000. / 一人部屋ご利用の場合¥355,000.

※燃料サーチャージについては現在免除されておりますが、今後の原油価格動向から別途、徴収される可能性があります。その際は燃料サーチャージが追加となります。尚、サーチャージが発生する場合は出発3ヶ月前には発表される予定です。

締切り： 参加申し込み最終締め切りは2月末日とさせていただきます

訪問先： ケベック

Q-WEB、AHQ、ケベック州政府の紹介による住宅モデル、リモデル例・現場、宅地の開発・付加価値再開発現場、FPイノベーション研究所、CLT応用集合住宅、北米最古の城壁内都市・ケベックシティー  
モントリオール  
カナディアン建築センター、宅地開発現場  
トロント  
ナイアガラ オンザレイク、ナイアガラの滝

主 催： 一社) 輸入住宅産業協会(IHIO)・品質向上委員会

企 画： C.K. & アソシエーツ

協 力： ケベック州政府、ケベック木材製品輸出振興会

最少催行人員： 15名(期日までの予約が最少催行人員に達しない場合、研修旅行を中止する場合があります。)

## 準 備：

- カナダ大使館の会議室にて事前説明会開催：来年1月26日(木曜日)  
(詳細は追って連絡いたします)
-

## カナダ東部木造住宅技術視察ツアー旅程（予定）

旅行代金IHI0会員様：¥275,000 / 非会員様：¥295,000						
日次	月日/曜日	都市名（発/着）	時間	交通機関	摘 要	食事
1	平成29年 5月30日 (火曜日)	羽田発  ケベック着	17:40  22:27	エア・カナダ  専用車	15時30分羽田空港集合 エア・カナダ航空便にてトロント経由 ケベックへ  ケベック泊	夕：機内○
2	5月31日 (水曜日)	ケベック市	A M P M 夕刻	専用車	FPイノベーション研究所訪問 CLT木造13階建て共同住宅見学 旧市街散策  ケベック泊	朝：各自 昼：各自 夕：各自
3	6月1日 (木曜日)	ケベック市	A M  P M	専用車	デザイン主導新築・リモデル市場視察 現地の建材活かしたリモデリング Q-WEB理事長宅でオマールパーティー  ケベック泊	朝：各自 昼：各自 夕：○
4	6月2日 (金曜日)	ケベックから モントリオールへ 移動	A M  P M	専用車	ケベック～宅地開発の現場を訪問 ～モントリオールに移動。 カナディアン建築センター訪問  モントリオール泊	朝：各自 昼：各自 夕：各自
5	6月3日 (土曜日)	モントリオール発 トロント経由し、 ナイアガラ方面へ	A M	専用車 エア・カナダ 専用車	早朝モントリオール発、トロントへ オンザレイクの街並み散策後 滝の見えるステーキハウスで夕食会  ナイアガラ泊	朝：各自 昼：各自 夕：IHI0○
6	6月4日 (日曜日)	ナイアガラ発 トロント発	07:30 13:45	専用車 エア・カナダ	専用車でトロントへ エア・カナダ航空便にて羽田へ  機内泊	朝：各自 昼：機内○ 夕：機内○
7	6月5日 (月曜日)	東京 羽田着	15:35		東京・成田空港着、 入国・通関後 到着ロビーにて解散	昼：機内○

- ※ 旅行代金に含まれるもの： 航空運賃-日程表に記載された期間のエコノミークラス団体運賃、宿泊料金(ベースは二人部屋使用)、専用車-空港⇄ホテル間の送迎、市内・郊外日程明示の視察・観光
- ※ 尚、燃料サーチャージについては現在免除されておりますが、今後の原油価格動向から別途、徴収される可能性があります。その際は燃料サーチャージが別途追加となります。
- ※ 表記時間は全て現地時間帯です。交通機関、等、変更になる場合があります。
- ※ 今回の視察ツアーは一般の観光向けホテルの二人部屋利用を基本に設定してありますが、一人部屋での参加、或いはB&B(ベッド&ブレックファスト)の宿ご希望、などはできるだけフレキシブルに対応させていただきたいと考えております。参加人数などにより宿泊可能な施設を選択しますので、最終的には申込み締切り後のご案内となります。
- ※ 利用予定航空会社： スターアライアンス航空会社を予定しています。
- ※ 参加者が15名に満たない場合はキャンセルとなる場合もあります。参加申し込み最終締め切りは2月末日です。

[企画] C.K.&アソシエイツ (担当：菊池クリス 携帯：090-8476-9749)

[取扱旅行会社] 株式会社新生旅行 (担当：大嶽 眞一氏)

〒105-0004 東京都港区新橋6-2-1 TEL: 03-3438-2508 / FAX: 03-3438-2560